

# 日本設備工業新聞

発行所  
(株)日本設備工業新聞社  
東京都渋谷区桜丘町10-13  
〒150-0031 野元第1ビル  
電話 (03) 3496-4774 (代)  
FAX (03) 3464-1884  
info@setubikougyo.co.jp  
(購読料郵税共) 年極8,000円



**TOTO**  
NEOREST  
きれいな除菌水のチカラで、  
毎回手間なし除菌。  
詳しくは弊社カタログ、ホームページを  
ご覧ください。

# あんしん診断・人材事業

## 東管協組 新年の重点課題に

東京都管工事工業協同組合(佐藤理事長)は十二月十二日、港区赤坂の東京都管工事会館で記者会見を開き、組合活動の一年を振り返るとともに、新年の抱負を明らかにした。今年度は熊本地震で水道施設復旧支援活動を展開するとともに、第四十八回管工機材・設備総合展を開催して業界活性化へ大きな成果を収めた。これを踏まえ、新年は東京水道あんしん診断と人材力支援事業を重点課題に組合員一丸となってさらなる飛躍・発展に努めていく。

## 採用・定着支援に期待感

記者会見には佐藤理事長、福田善次副理事長(総務担当)、小堀卓三副理事長(技術担当)、宮崎文雄副理事長(事業担当)、石井正治総務部長、宮城美貴専務理事が出席。宮城専務理事の司会で冒頭、佐藤理事長があいさつに立ち「都政は予算編成をはじめ新たな手法を採り入れつつあるが、二〇二〇年東京



### 配管支持金具



**アカネ株式会社**  
配管支持金具の  
株式会社 **アカネ**  
本社 〒104-8251 東京都中央区新富1-19-2 ☎03-3552-7331(大代表)  
営業本部 ☎03-3552-7091(代 表)  
本社 東京・支店 営業所 全国主要都市

## 4-5面に 写真で見る 業界の1年

新規事業では東京しごと財団による管工事業人材力支援事業の企画提案コンペに東管協組を中心とするコンソーシアムで臨み業務を受託。急激な少子高齢化や職業意識の変化などで深刻化している中小企業の人材不足に対処するため、ウェブサイトによる業界の魅力発信などを通じた採用支援や専門資格取得を含む人材定着支援などに全力で取り組んでいく。

今年度の活動を振り返ると、災害対応では四月に発生した熊本地震の被災地の水道施設復旧支援に活動し、九月に実施された東京都・葛飾区・墨田区合同防災訓練に参加した。今年度から本格実施となった東京水道あんしん診断業務については試行的な活動を活かして体制強化を図り、円滑な推進に努めている。新たに浅草の都立産業貿易センター(台東区)に会場を移した「台東館」に会場を移した管工機材・設備総合展は百四十一社・三百五十二小間の大規模開催で盛況のうちに終了することができた。

「早急に検討を進め、今年度内をめどに報告書をとりまとめたうえで、次のステップに向けた対策のさらなる強化に努めていく」と述べた。

## 省エネ・脱フロン機器普及へ

## 環境省 フロン対策強化で論点示す

環境省は十二月十三日、東京・霞が関の同省



会議室で第一回「フロン対策の今後の在り方に関する検討会」(座長・西園大吏群馬大学教育学部教授)を開き、主要な論点を打ち出した。省エネ型・脱フロン型冷凍空調機器の普及策などを検討していく。



十一月に地球温暖化対策に関するパリ協定が発効し、冷凍空調機器の冷媒フロン類の一種の排出抑制が求められている。とくに代替フロンのうち二酸化炭素換算量で約九割を占める冷媒HFCは地球温暖化対策計画で二〇三〇年までに機器使用時の漏えい率を二〇一三年比一〇〜八三%低減、機器廃棄時の回収率を三二%から七〇%に向上させる方針だ。十月にはHFCの生産・消費を段階的に削減するモントリオール議定書の改正も採択された。

# TERADA

## 大容量

## 備えて安全シリーズ・・・全国の官公庁・工場に数々の納入実績！

# 非常出水対策、緊急排水用

### 防災・災害復旧に大活躍します。

ガソリンエンジン駆動



ETS-80-100

ディーゼルエンジン駆動



E-7N4 (安全対策装備)



EP 据置式 2輪台車付 4輪台車付



## 株式会社 寺田ポンプ製作所

本社 〒635-8535 奈良県大和高田市東雲町3-17  
TEL.0745(52)5101 FAX.0745(23)0013  
東京 北関東 仙台 新潟 名古屋 静岡 大阪 岡山 高松 広島 福岡